

◇編集後記◇

歴史上もっとも暑い夏の終わりに、やっと『とい』34号をお届けすることになった◇欧州をめざす難民は懸命に地中海を渡ろうとしているが、すべては人間のあくなき欲望にねざす。まずは16世紀の時を超えて語りかける声に、「そうなりたい自分」、「ありのままの自分」を見つめてみたい◆民主的手続きを経た「教科書選定」に対する攻撃は、異なった意見や感覚を持つものをあからさまに排除しようとする動きにほかならない◆国防を担う自衛隊は国会の焦点のひとつになっているが、国内の治安を維持する警察の歴史は、あまり知られていない。「日本警察小史」と「戦後の警察改革」によって、明治以来の警察制度を俯瞰できることとなった◆今、環境は確実に汚染され、わたしたちは莫大な「代価」を支払いつづけている。そのことに、わたしたちの多くは気づいていないのではないか◇「とい」は果てしなくつづく。投稿をお待ちしています。<<>